

きずな(絆) No.37 発行:全日本民医連 震災対策本部

★★関連情報・重要なおしらせを全日本民医連 H.P に掲載しています。活用してください。

全国の仲間で被災者のもとへ！民医連綱領の実践を

■「皆さんの笑顔が戻ることを鳥取から願っています」鳥取民医連



鳥取医療生協入職式

2011 年度新入職員は被災地に届けるため、それぞれの「思い」を込めて色紙を作成しました。「1 日でも早くもとの生活に戻れること、皆さんに笑顔が戻ることを鳥取から願っています。一緒にがんばりましょう」「小さなことですが、私も自分にできることをしていこうと思います。いっしょにがんばりましょう」「何もできないができることがあれば協力したいです」「皆さんの心からの笑顔が見られることを祈っ

ています」「今みなさんは、不安や悩むこともあると思います。しかし笑顔をお忘れず、支えあって、日々をすごしてください。私も世界中も応援しています」などのメッセージが書き込まれ、思いが詰まっています。新入職員が書いた激励の色紙は、鳥取民医連事務局長より震災対策本部へと届けられました。届けられた色紙は、宮城厚生協会の新入職員オリエンテーションで手渡されることになりました。民医連はひとつ。連帯が広がっています。

(鳥取民医連「東日本大震災支援対策本部ニュース No.37」4/8 より)



■「お湯をカセットコンロで沸かし足湯支援」高知民医連

セラピストから多賀城中学校の避難所での支援報告です。「全体で 350 名が避難されており、昨日だけで 20 名の感染性胃腸炎と診断された方が治療を受けています。感染予防のために午前中は 15 名のチームで入り、医師・看護師の医療班とその他の職種の清掃班に分かれて活動しました。モップや雑巾で掃除にも精を出しました。午後は足浴をして喜ばれました。網膜剥離で視力障害のある 70～80 代の女性は、自衛隊の入浴支援にも迷惑をかけるからと遠慮していて、今日の足湯を気持ちよかったと喜んでくれました。お湯をカセットコンロで沸かすのが大変でしたが 15 名ほどに提供できました」

(高知医療生協・高知民医連「東日本大地震災害支援ニュース No16」4/7 より)

■「避難所でリハビリ介入がスタート 個別リハを開始」沖縄民医連

沖縄協同病院の理学療法士から支援報告です。「今日から避難所でリハビリの介入がスタートしました。坂病院の医師、セラピストと回診リハ実施者をピックアップ。実際に今日から個別リハもスタートしています。避難所生活が 1 ヶ月を経過し、被災前後で ADL レベルが低下されている方も多く、今後はリハビリの介入がさらに必要となっていくと思われます。また現在は個別リハのみですが、今後は集団リハへの移行でより多くの方にリハ実施可能だと思われ、現在、坂病院のセラピストの中でも検討中とのことです。記録はもちろん紙カルテです。慣れない紙カルテに手を焼いています。今は暗闇の中で塩せんべいをほおばっています。BGMはラジオのプロ野球中継です。今日は仙台を本拠地としている楽天イーグルスが開幕戦を勝利で飾ったみたいです。被災者の方のためにも、今年は楽天イーグルスを応援したいと思います」(東日本大震災「沖縄民医連支援ニュース 第 16 号」4/14 より)

<おしらせ> ****

○法人・事業所・県連が発行された支援ニュースや新聞報道掲載記事などは、info@min-iren.gr.jp(全日本民医連代表アドレス)に、集中してください。

○全日本民医連HPで関連情報・動画を掲載。活用し職場での意思統一、学習会を積極的に開催しよう。
